

作品・作者解説

# 山月記

（中島敦）

# 作品解説（山月記）

作者

中島敦

初出

一九四二（昭和一七）年  
雑誌「文学界」

概要

中国の伝奇小説『人虎伝』を  
素材として書かれた作品。

『文字禍』とともに発表され、  
二作品をまとめて『古譚』と  
いう総題が付されていた。

# 作者解説（中島敦）

## 生没年

一九〇九（明治四二）年

～一九四二（昭和一七）年

## 文学思潮

注目を集め始めた年に死去したこともあり、文壇とはほとんど無縁の作家であった。

## 代表作

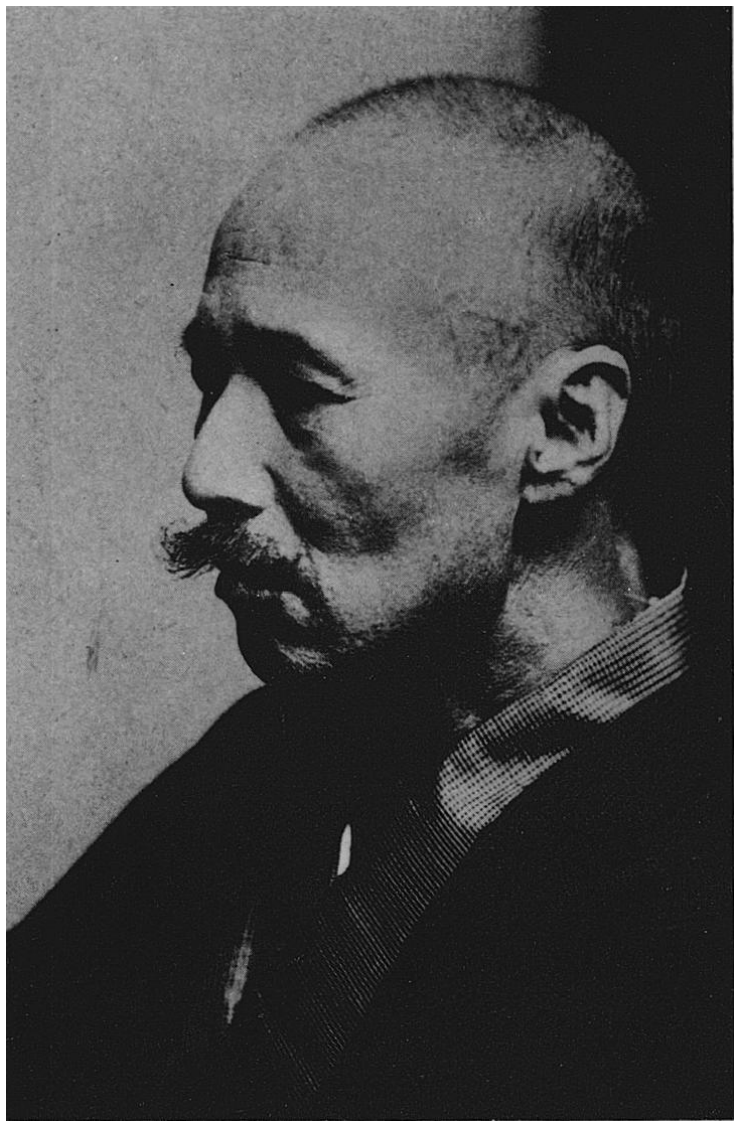
『光と風と夢』 『名人伝』

『弟子』 『李陵』 など。

関連人物

森鷗外

東京帝国大学国文科に進んだ  
中島敦が研究対象に選んだの  
は、耽美派の文学だった。そ  
して大学院では、特に森鷗外  
の研究に従事した。



出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」  
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)